

平成 28 年度佐倉市当初予算（案）の概要

記者会見資料
H.28.2.18

1. 財政見込み

・市税総額は増額 +4.6 億円

個人市民税(+0.6 億円)、法人市民税(+0.3 億円)は微増。

固定資産税(+3.2 億円)、都市計画税(+0.4 億円)は新築家屋、償却資産の増により増額

・地方交付税などの国、県からの交付金 +1.6 億円

・地方消費税交付金は 2.0 億円の増の 26 億円を見込む。一方、地方交付税は市税の増額などに伴い前年度比 0.8 億円減の 18.0 億円を見込む。

・その他各種交付金も含めた総額としては、1.6 億円の増の 55.4 億円を見込む。

・経常経費は増加 +14.7 億円

・経常経費のうち、義務的経費(人件費、扶助費、公債費)は、公債費は減少となったが、人件費及び社会保障関係経費が増加したことから義務的経費全体では 8.8 億円の増加となった。また、特別会計の繰出金や施設の維持管理経費も増加傾向にあるため、経常経費全体では 14.7 億円の増加となった。

・普通建設事業費は△16.4 億円

・小中学校の改修事業 4.8 億円 (前年度比 △17.4 億円)

・本庁舎の保全事業 1.0 億円 (前年度比 △7.1 億円)

・橋梁維持事業 3.8 億円 (前年度比 +3.6 億円)

・岩名運動公園拡張整備事業 3.9 億円 (前年度比 +3.9 億円)

・その他

・臨時財政対策債は地方財政対策により前年度比 2 億円減の 16 億円を見込む。

・H28 年度当初予算では財政調整基金からの繰入れは前年度比 8.6 億円増の 30.8 億円を見込んでいる。(一般財源の総額+12.5 億円)

2. 基本方針

・健全な財政運営と持続可能な財政の確立

・財政の持続性を確保するため、限られた財源の有効活用に努め、歳入規模に見合った予算規模とする。経常的経費のうち義務的(準義務的)経費は所要額を計上し、また通常一般経費は、部局ごとに要求上限額を設定し、歳出増は部局内で調整し抑制する。

・臨時的経費は、実施計画に計上された事業費を基本とし、国庫補助金などの財源の確保に努め、また、経費の積算においてもコスト削減に努め、一般財源の持ち出しは極力抑制する。

・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいた、人口減少対策、地域経済活性化を積極的に進め、第 4 次総合計画・後期基本計画の基本施策を着実に進める。

3. 予算規模

・一般会計 463 億 6,300 万円 (△1.0%) 前年度比 4 億 6,354 万 8 千円の減額

・特別会計 354 億 8,578 万 2 千円 (+2.1%) 前年度比 7 億 2,360 万 5 千円の増額

・国民健康保険特別会計 222 億 3,148 万 6 千円(+6.6 億円 3.1%)

・介護保険特別会計 112 億 5,690 万 3 千円(△1.6 億円 △1.4%)

・後期高齢者医療特別会計 19 億 6,447 万 5 千円(+2.3 億円 13.1%)

*平成 27 年度当初予算は骨格予算であったため、前年度との予算比較はすべて平成 27 年 6 月補正後の予算との比較となります。

4. 一般会計の主な事業

①議会・総務費関係 議会費 4 億 313 万 5 千円、総務費 59 億 2753 万 9 千円

マイナンバー制度への対応、シティプロモーションの推進のほか、防災施設の整備などを進める。

- ・特別職等公用車運行管理事業(1715 万 8 千円)・運行業務委託、特別職公用車リース (P.6)
- ・平和施策事業(424 万 1 千円)・平和首長会議の開催、平和使節団の派遣等 (P.7)
- ・シティプロモーション事業(706 万 3 千円)・シティプロモーション推進委託等 (P.6)
- ・評価替え等事業(4700 万 7 千円)・固定資産税の評価替えに向けた土地評価鑑定委託 (P.8)
- ・証明書コンビニ交付事業(債務負担行為)・住民票などのコンビニ交付に向け準備を進める (P.9)
- ・防災施設整備事業(2 億 9027 万 7 千円)・防災行政無線のデジタル化改修、防災井戸改修等 (P.10)
- ・(仮称)千代田ふれあいセンター施設整備(7301 万 5 千円) (P.10)

②民生費・衛生費関係 民生費 186 億 9523 万 9 千円、衛生費 42 億 6973 万 9 千円

障害者福祉、高齢者福祉や子育て支援及び市民の健康増進の充実を引き続き推進する。

- ・障害者理解促進事業(144 万 6 千円)・障害者差別解消法に関する啓発事業等 (P.12)
- ・臨時福祉給付金支給事業(1 億 9223 万 9 千円)・低所得者の負担軽減を図る (P.12)
- ・子育て世代包括支援センター事業(1037 万 7 千円)・子育て世代への包括的支援の実施 (P.13)
- ・産後ケア事業(1200 万円)・出産後の母子への心身のケアや育児のサポートを行う。 (P.13)
- ・学童保育所施設整備事業(7511 万 2 千円)・学童保育所の新規整備等 (P.14)
- ・口腔がん検診事業(225 万 2 千円)・40 歳以上を対象に口腔がんの個別検診を実施する。 (P.14)
- ・住宅用省エネルギー設備等導入促進事業(1435 万円)・太陽光発電等に対する助成 (P.14)

③農林水産業費・商工費関係 農林水産業費 4 億 6078 万 2 千円、商工費 5 億 211 万 6 千円

地域経済の活性化や産業振興を推進するための取り組みを行う。

- ・佐倉草ぶえの丘整備事業(3344 万 5 千円)・佐倉草ぶえの丘研修棟の耐震改修実施設計等 (P.15)
- ・企業誘致事業(1 億 4316 万 1 千円)・企業誘致を促進するため、助成金を交付 (P.15)
- ・観光施設整備事業(8131 万 1 千円)・サンセットヒルズにシャワールーム等を整備 (P.16)
- ・観光資源創出事業(544 万 5 千円)・かわまちづくり計画に基づく舟戸一里塚整備設計委託等 (P.16)

④土木費・消防費関係 土木費 46 億 2929 万 4 千円 消防費 26 億 5633 万 6 千円

道路、街路の維持補修及び整備、都市排水路の改修、公園の整備等、都市基盤の整備を進める。

- ・市管理街灯 LED 化事業(1 億 9791 万 2 千円)・市管理街灯 LED 化、自治会管理街灯調査 (P.16)
- ・幹線道路整備事業(2 億 6164 万 8 千円)・臼井田 I-42 号線道路改良など (P.17)
- ・岩富・寺崎線道路改良事業(1511 万円)・用地測量 (P.17)
- ・橋梁維持事業(3 億 8451 万円)・寺崎陸橋外 9 橋補修工事、城南橋外 33 橋点検委託 (P.17)
- ・3・4・5 井野・酒々井線外 1 路線道路改良事業(1 億 8896 万 2 千円)・橋梁上部工事等 (P.18)
- ・都市排水路改修事業(2593 万 8 千円)・ポンプ、水位計交換工事、非常用発電機リース等 (P.18)
- ・岩名運動公園拡張整備事業(3 億 9263 万円)・長嶋茂雄記念岩名球場改修工事 (P.19)
- ・佐倉城址公園整備事業(1 億 1711 万 8 千円)・大手門跡地周辺の用地購入、測量 (P.19)
- ・住生活基本計画推進事業(2039 万 1 千円)・若者等の親世帯との同居、近居住み替え支援等 (P.20)

⑤教育費関係 教育費 55 億 7780 万 6 千円

小中学校や社会教育施設の改修を進めるとともに、いじめ防止対策、インクルーシブ教育推進などハード、ソフト両面での教育の充実。

- ・小学校施設改築・改造費(2 億 9136 万 9 千円)・校舎、体育館の屋根改修、給水設備更新等 (P.21)
- ・中学校施設改築・改造費(2 億 5876 万 9 千円)・武道場天井落下防止工事、給水設備更新等 (P.21)
- ・いじめ防止対策推進事業(864 万 7 千円)・学校支援アドバイザーの巡回支援等 (P.22)
- ・旧川崎銀行佐倉支店保存整備事業(5860 万円)・美術館エントランスホールの耐震補強 (P.22)
- ・スポーツ施設整備事業(3375 万 9 千円)・西志津スポーツ等多目的広場にトイレと防災井戸整備 (P.24)